

県民健康管理調査「健康診査」の実施状況について

1 平成24年度の実施状況

◆平成24年度の実績

(単位：人、%)

区分等		平成23年度（確報値 平成24年9月11日）			平成24年度（確報値 平成25年7月5日）			
		年齢区分		合計	年齢区分		合計	
		15歳以下	16歳以上	全年齢	15歳以下	16歳以上	全年齢	
対象者数		27,819	182,370	210,189	27,077	184,910	211,987	
受診者数 (人)	15歳以下	県内小児健診	15,002	—	15,002	9,534	—	9,534
		県外小児健診	2,949	—	2,949	2,283	—	2,283
		県内、県外での 重複受診者数	17	—	17	37	—	37
		小計 (重複受診者数を除く)	17,934	—	17,934	11,780	—	11,780
	16歳以上	県内市町村が実施 する総合健診	—	8,798	8,798	—	23,907	23,907
		県内個別健診	—	—	—	—	6,692	6,692
		県内集団健診	—	41,949	41,949	—	10,603	10,603
		県外個別健診	—	3,815	3,815	—	3,057	3,057
		その他 ※1、※2	—	2,045	2,045	—	3,206	3,206
		県内、県外での 重複受診者数	—	208	208	—	454	454
		小計 (重複受診者数を除く)	—	56,399	56,399	—	47,011	47,011
		合計 (重複受診者数を除く)	17,934	56,399	74,333	11,780	47,011	58,791
	受診率 (%)		64.5%	30.9%	35.4%	43.5%	25.4%	27.7%

※1 その他（県内で実施（市町村が都市医師会、医療機関へ委託したケース））

※2 その他（県外で実施（市町村が健診代行機関に委託したケース））

◆平成23年度の実施状況を踏まえた改善点

【県内に居住している対象者】

15歳以下の小児に関しては、平成23年度の実施期間が平成24年1月～3月の短期間であったこと、協力医療機関から冬の繁忙期以外での実施要望があったことを踏まえ、平成24年度は、平成24年7月～12月までの約6ヶ月間で実施した。

16歳以上に関しては、対象市町村が行う特定健康診査・総合健診での上乘せ健診とその後の集団健診という体制は維持した上で、県内医療機関での個別健診でも受診できるようにして、受診希望者の選択の幅を広げ、利便性の向上を図った。また、上乘せ健診も伊達市を除く12市町村（平成23年度は9町村）で実施した。

【県外に避難している対象者】

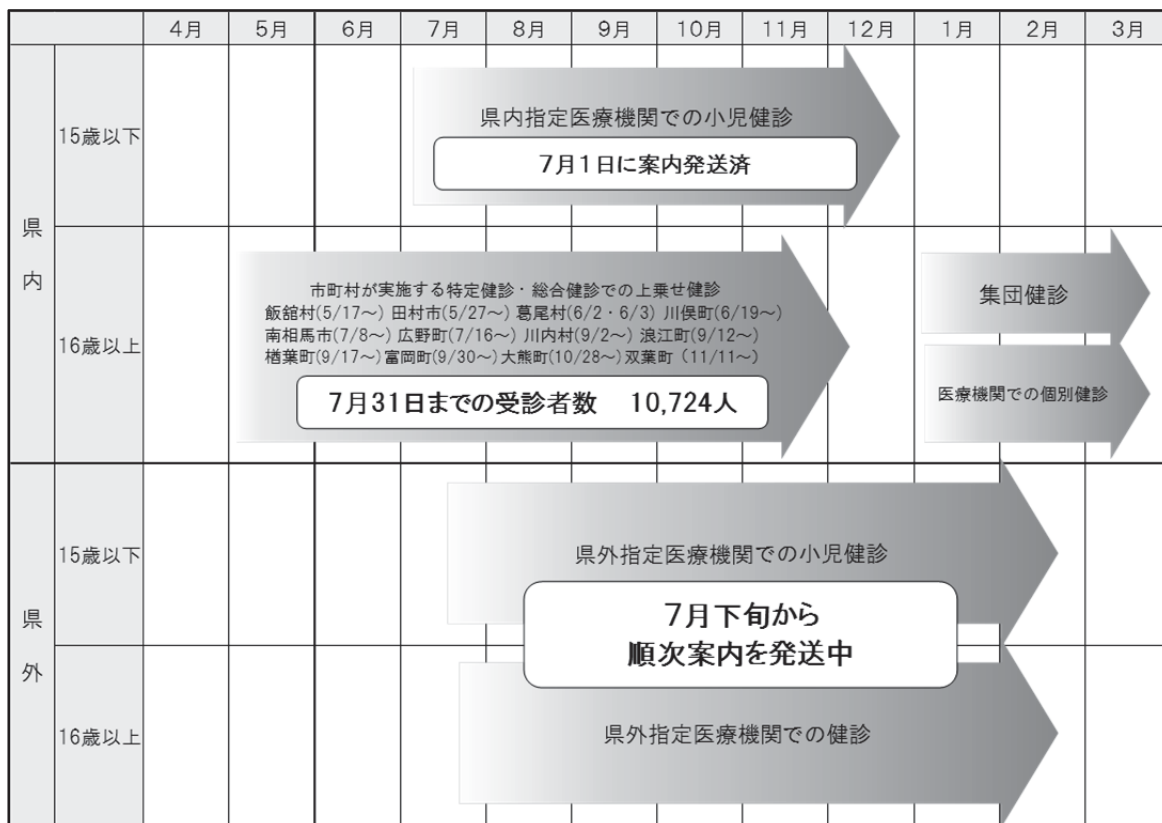
県外の医療機関での受診期間も平成23年度の実施期間が短期であったことを踏まえ、平成24年8月には受診案内を送付し、平成24年9月～平成25年2月までの受診可能期間を確保して実施した。受診可能な医療機関も、平成23年度以上の医療機関に協力をいただいている。

◆調査の受診率

平成24年度の16歳以上の受診率は25.4%で平成23年度の30.9%と比較すると、5.5ポイント減少している。同じく、15歳以下の受診率は43.5%で平成23年度の64.5%と比較すると、21ポイント減少している。

2 平成25年度の実施状況

対象者：213,444人（15歳以下 26,474人、16歳以上 186,970人）



◆平成25年度の実施状況

【県内に居住している対象者】

15歳以下の小児に関しては、昨年度と同様に平成25年7月～12月までの約6ヶ月間で実施している。（協力医療機関数104施設。）

16歳以上に関しては、引き続き伊達市を除く12市町村において市町村が実施する特定健康診査・総合健診で追加項目を上乗せして同時に実施できるようにするとともに、集団健診や医療機関での個別健診の実施を予定している。受診者数は、途中経過であるが16歳以上が10,724人である。

【県外に避難している対象者】

各都道府県で受診可能な医療機関を充実させるとともに、昨年度よりも早期に実施できるよう7月下旬より順次案内を発送し8月から実施予定である。また、多数の対象者が避難している地域に近接した医療機関に協力いただけるように努める。

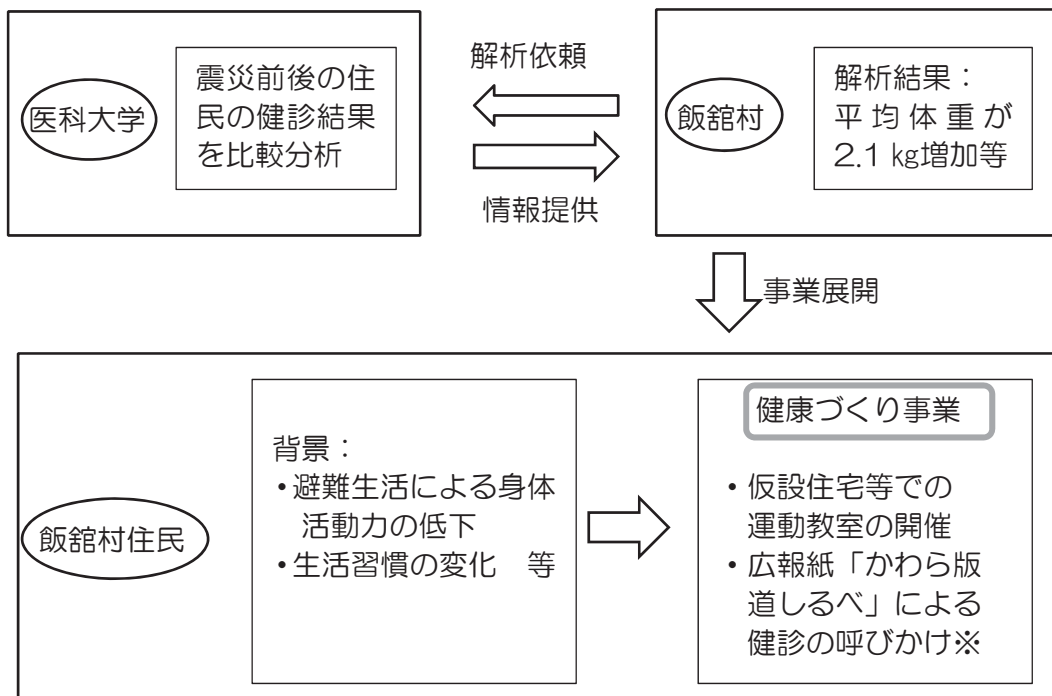
3 今年度の新たな取組み

- (1) 「小児健康診査」受診勧奨ポスターの作成
小児健康診査を実施する県内 104 の医療機関等に、掲示用のポスターを配付した。また、医療機関窓口用に受診案内のちらしを作成し、保護者の方への「小児健診」受診の呼びかけの強化を図った。
- (2) 経年データを用いた健診結果の解析
飯舘村他 12 市町村において、住民の健康管理を行うことができるようにするため、震災前後の健診結果を比較し、震災等の生活習慣病等への影響の評価・解析を行っている。(4-(2))
- (3) 受診勧奨（リマインダー）の実施
健康診査の効果的な広報を行うため、5 月に集団健診を実施した飯舘村と連携して、6 月に受診勧奨のお知らせを住民に配付した。

4 市町村との連携

- (1) 健康診査結果の対象市町村へのフィードバック
県民の皆様の健康を長期にわたり見守り、必要と考えられるケアを適切に提供するには、健診の対象となる市町村の住民の健診結果をできるだけ早く健康維持や増進に役立てていく必要がある。このため、平成 24 年度健診結果については、速やかに対象市町村に情報提供していくこととする。
また、震災前の健診結果とのデータの比較検討も、対象自治体からの要請に応じ、震災前後の健診結果の比較解析（全 13 市町村で実施）に加え、市町村が必要とする解析を行う等、個別に対応を行っていく。

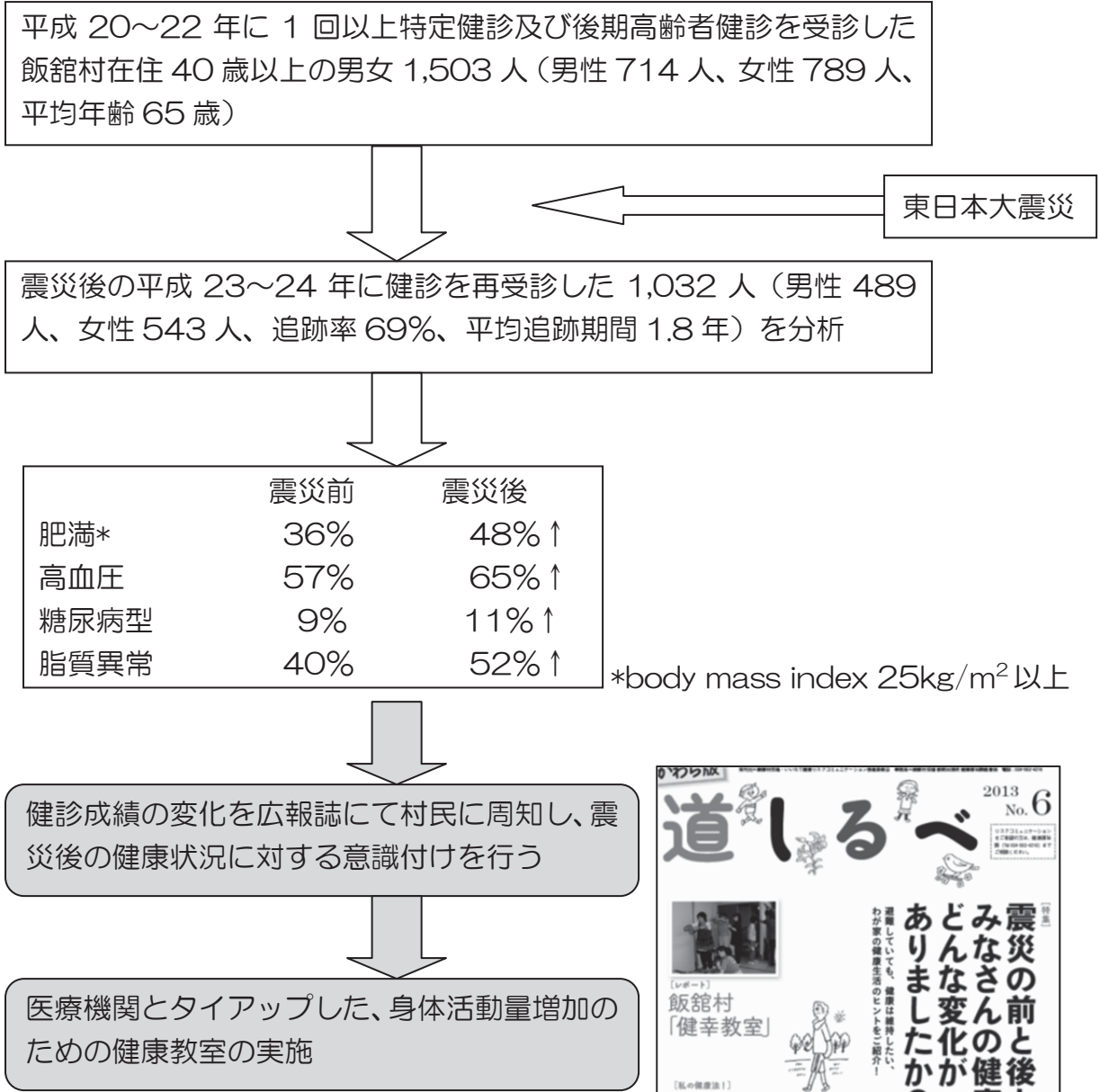
(2) 飯舘村の比較解析事例



※裏面参照

◆飯舘村における震災前後の健診結果の比較と保健事業への展開

【県民健康管理センターの健診成績分析結果を飯舘村の健康施策に生かした流れ】



平成 23・24 年度 県民健康管理調査

「健康診査」結果解析

(過去の特定健康診査・後期高齢者健康診査との比較)

平成 23・24 年度に避難区域等の市町村が実施した特定健康診査・後期高齢者健康診査において検査項目を上乗せして同時に県民健康管理調査「健康診査」を受診した方の健康診査結果を、避難区域等の市町村（田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、葛尾村、飯舘村）において平成 20～22 年度に行われた特定健康診査及び後期高齢者健康診査の結果と比較した。

平成 23 年度は 9 町村（広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）において、これらの市町村が実施した特定健康診査・後期高齢者健康診査において検査項目を上乗せして同時に県民健康管理調査を実施した。

平成 24 年度は 12 市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）において、これらの市町村が実施した特定健康診査・後期高齢者健康診査において検査項目を上乗せして同時に県民健康管理調査を実施した。

今回の比較は、国民健康保険の 40 歳以上の被保険者及び後期高齢者というほぼ同じカテゴリーに属する集団とはいえ、全く同じ母集団の比較ではないため、比較分析の結果はあくまで参考値である。

【対象者】

平成 20 年度	27,215 人	(男性 12,219 人、女性 14,996 人)
平成 21 年度	27,000 人	(男性 12,293 人、女性 14,707 人)
平成 22 年度	26,309 人	(男性 12,034 人、女性 14,275 人)
平成 23 年度	7,822 人	(男性 3,268 人、女性 4,554 人)
平成 24 年度	21,976 人	(男性 9,329 人、女性 12,647 人)

年齢は、平成 24 年度は平均 65.6 歳（男性 66.7 歳、女性 64.8 歳）、平成 23 年度は平均 64.3 歳（男性 65.6 歳、女性 63.4 歳）、平成 20～22 年度は 66.2～66.6 歳（男性 66.4～67.0 歳、女性 65.9～66.2 歳）であった。

男性の平均年齢は、平成 20～22 年度に比して平成 23 年度はやや低かったが、平成 24 年度は同等であった。女性の平均年齢は、平成 20～22 年度に比して平成 23・24 年度はやや低かった。

【結果】

1) 身長、体重

●身長

身長(cm)(男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	170cm以上	150cm以下
H20	12,219	66.4	161.9	11.8%	3.1%
H21	12,293	66.7	162.0	12.1%	3.2%
H22	12,033	67.0	162.3	13.0%	3.0%
H23	3,267	65.6	163.6	16.8%	2.0%
H24	9,329	66.7	163.2	15.9%	2.7%

身長(cm)(女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	160cm以上	140cm以下
H20	14,996	65.9	149.6	4.8%	6.4%
H21	14,707	66.1	149.7	5.3%	6.4%
H22	14,275	66.2	150.0	5.6%	5.8%
H23	4,554	63.4	151.5	9.6%	4.9%
H24	12,645	64.8	151.1	8.1%	4.9%

●体重

体重(kg)(男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	70kg以上	50kg以下
H20	12,219	66.4	62.0	19.3%	9.6%
H21	12,293	66.7	62.1	19.1%	9.5%
H22	12,034	67.0	62.2	19.6%	9.2%
H23	3,267	65.6	65.7	30.4%	4.8%
H24	9,329	66.7	64.7	27.0%	6.2%

体重(kg)(女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	65kg以上	45kg以下
H20	14,996	65.9	52.7	8.2%	17.3%
H21	14,707	66.1	52.5	7.7%	17.5%
H22	14,275	66.2	52.4	7.5%	17.8%
H23	4,554	63.4	54.5	12.4%	13.0%
H24	12,647	64.8	54.3	11.8%	14.3%

身長は、男性 170cm 以上の割合が平成 20～22 年度の 11.8～13.0%と比して平成 23 年度は 16.8%と高かった。また、平成 24 年度は 15.9%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。女性 160cm 以上の割合は平成 20～22 年度の 4.8～5.6%と比して平成 23 年度は 9.6%と高かった。また、平成 24 年度は 8.1%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。

体重は、男性 70kg 以上の割合は平成 20～22 年度の 19.1～19.6%と比して平成 23 年度は 30.4%と高かった。また、平成 24 年度は 27.0%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。(50kg 以下の割合は平成 20～22 年度の 9.2～9.6%と比して平成 23 年度は 4.8%と低くなっている。また、平成 24 年度は 6.2%と平成 23 年度と比してやや高くなっているが、平成 20～22 年度に比して低かった。)女性 65kg 以上の割合も平成 20～22 年度の 7.5～8.2%と比して平成 23 年度は 12.4%と高くなっている。また、平成 24 年度は 11.8%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。(45kg 以下の割合は平成 20～22 年度の 17.3～17.8%と比して平成 23 年度は 13.0%と低くなっている。平成 24 年度は 14.3%と平成 23 年度と比してやや高くなっているが、平成 20～22 年度に比して低かった。)

2) 腹囲、BMI

●腹囲

腹囲(cm)(男性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	85cm以上
H20	9,492	66.4	84.8	49.0%
H21	9,501	66.7	84.9	48.7%
H22	9,247	67.0	85.0	49.0%
H23	2,588	65.6	86.9	59.3%
H24	7,393	63.3	86.5	57.0%

腹囲(cm)(女性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90cm以上
H20	11,921	65.9	83.8	24.8%
H21	11,661	66.1	83.6	23.8%
H22	11,317	66.2	83.7	23.1%
H23	3,735	63.4	83.3	23.8%
H24	10,539	61.8	84.0	25.1%

●BMI

BMI(男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	≥ 25	< 18
H20	12,219	66.4	23.5	30.4%	2.0%
H21	12,333	66.7	23.5	29.6%	2.4%
H22	12,033	67.0	23.5	29.8%	2.5%
H23	3,267	65.6	24.5	41.9%	1.2%
H24	9,329	66.7	24.2	38.1%	1.5%

BMI(女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	≥ 25	< 18
H20	14,996	65.9	23.5	31.0%	3.3%
H21	14,707	66.1	23.4	29.9%	3.2%
H22	14,275	66.2	23.3	28.1%	3.6%
H23	4,554	63.4	23.7	34.0%	3.3%
H24	12,645	64.8	23.8	33.4%	3.3%

腹囲は、男性において 85cm 以上の割合は平成 20～22 年度の 48.7～49.0%と比して平成 23 年度は 59.3%と高くなっている。また、平成 24 年度は 57.0%と平成 23 年度と比してやや低くなっているが、平成 20～22 年度に比して高かった。女性において 90 cm以上の割合は平成 20～22 年度の 23.1～24.8%と比して平成 23 年度は 23.8%と特に差はなかったが、平成 24 年度は 25.1%と平成 20～22 年度、平成 23 年度に比してやや高くなっている。

BMI は、男性で 25 以上の割合は平成 20～22 年度の 29.6～30.4%と比して平成 23 年度は 41.9%と高くなっている。また、平成 24 年度は 38.1%と平成 23 年度と比してやや低くなっているが、平成 20～22 年度に比して高かった。女性においても 25 以上の割合は平成 20～22 年度の 28.1～31.0%と比して平成 23 年度は 34.0%とやや高くなっている。また、平成 24 年度は 33.4%と平成 23 年度と同等であり、平成 20～22 年度に比して高かった。

3) 血圧

●収縮期血圧

収縮期血圧 (mmHg) (男性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
H20	12,219	66.4	133.3	33.8%
H21	12,293	66.7	132.9	32.6%
H22	12,034	67.0	133.2	33.2%
H23	3,267	65.6	134.3	35.9%
H24	9,328	66.7	131.2	29.3%

収縮期血圧 (mmHg) (女性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
H20	14,996	65.9	131.6	30.3%
H21	14,706	66.1	130.7	28.7%
H22	14,275	66.2	131.0	28.7%
H23	4,554	63.4	130.3	27.8%
H24	12,646	64.8	128.2	24.0%

●拡張期血圧

拡張期血圧 (mmHg) (男性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
H20	12,219	66.4	78.9	16.4%
H21	12,293	66.7	78.3	15.4%
H22	12,034	67.0	78.4	15.7%
H23	3,267	65.6	80.0	19.7%
H24	9,328	66.7	78.5	15.8%

拡張期血圧 (mmHg) (女性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
H20	14,996	65.9	76.7	11.6%
H21	14,706	66.1	75.7	9.6%
H22	14,275	66.2	75.9	10.3%
H23	4,554	63.4	77.0	11.6%
H24	12,646	64.8	75.7	10.1%

男性の収縮期血圧 140mmHg 以上の割合は、平成 20～22 年度の 32.6～33.8%と比較して平成 23 年度は 35.9%と明らかな違いは見られなかったが、平成 24 年度は 29.3%と平成 20～22 年度や平成 23 年度に比してやや低くなっている。女性も平成 20～22 年度の 28.7～30.3%と比較して平成 23 年度は 27.8%と明らかな違いは見られなかったが、平成 24 年度は 24.0%と平成 20～22 年度や平成 23 年度に比してやや低くなっている。

男性において拡張期血圧 90mmHg 以上の割合は平成 20～22 年度の 15.4～16.4%と比して平成 23 年度は 19.7%とやや高くなっている。また、平成 24 年度は 15.8%と平成 23 年度と比してやや低くなり、平成 20～22 年度と同等であった。女性は平成 20～22 年度の 9.6%～11.6%と比較して平成 23 年度は 11.6%と明らかな違いは見られなかった。平成 24 年度も 10.1%と平成 20～22 年度や平成 23 年度と同等であった。

4) 糖代謝

●空腹時血糖値

空腹時血糖値 (mg/dl)(男性)						
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dl以上	130 mg/dl以上	160 mg/dl以上
H20	9,701	66.4	101.5	20.1%	6.9%	2.0%
H21	9,841	66.7	101.5	19.7%	6.9%	2.2%
H22	9,706	67.0	101.6	19.9%	6.8%	2.0%
H23	2800	65.6	107.5	28.2%	11.5%	4.6%
H24	8,056	66.5	104.5	24.2%	9.1%	2.9%

空腹時血糖値 (mg/dl)(女性)						
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dl以上	130 mg/dl以上	160 mg/dl以上
H20	11,828	65.9	97.5	13.3%	4.0%	1.2%
H21	11,615	66.1	96.8	12.2%	3.7%	1.2%
H22	11,294	66.2	96.8	12.2%	3.6%	0.9%
H23	3935	63.4	100.1	15.8%	5.2%	2.1%
H24	10,802	64.6	98.5	13.9%	4.4%	1.2%

●HbA1c

HbA1c (%) (JDS)(男性)						
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.5%以上	7.0%以上	8.0%以上
H20	12,217	66.4	5.1	4.1%	2.4%	0.8%
H21	12,290	66.7	5.1	4.5%	2.6%	1.1%
H22	12,031	67.0	5.1	4.4%	2.4%	0.9%
H23	3,268	65.6	5.2	7.0%	4.3%	1.9%
H24	9,325	66.7	5.2	5.1%	2.8%	1.3%

HbA1c (%) (JDS)(女性)						
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.5%以上	7.0%以上	8.0%以上
H20	14,994	65.9	5.1	2.9%	1.7%	0.7%
H21	14,705	66.1	5.1	2.8%	1.6%	0.6%
H22	14,272	66.2	5.1	2.7%	1.6%	0.7%
H23	4,554	63.4	5.1	3.4%	2.2%	1.0%
H24	12,645	64.8	5.2	2.7%	1.5%	0.6%

●尿糖

尿定性 (尿糖)(男性)			
	受診者数(人)	平均年齢	1+以上
H20	12,203	66.4	3.7%
H21	12,280	66.7	3.6%
H22	12,024	67.0	3.2%
H23	3,260	65.6	4.3%
H24	9,315	66.7	3.8%

尿定性 (尿糖)(女性)			
	受診者数(人)	平均年齢	1+以上
H20	14,984	65.9	1.2%
H21	14,698	66.1	1.0%
H22	14,248	66.2	0.9%
H23	4,531	63.4	1.6%
H24	12,618	64.8	0.9%

耐糖能障害を示唆する空腹時血糖値は、男性 110mg/dl 以上の割合が平成 20～22 年度の 19.7～20.1%と比して平成 23 年度は 28.2%と高かった。また、平成 24 年度は 24.2%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。女性は平成 20～22 年度の 12.2～13.3%と比して平成 23 年度は 15.8%と高かった。また、平成 24 年度は 13.9%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比してやや高かった。

血糖管理が不良とされる空腹時血糖は、男性 160mg/dl 以上の割合が、平成 20～22 年度の 2.0～2.2%と比して平成 23 年度は 4.6%と高かった。また、平成 24 年度は 2.9%と平成 23 年度と比して低かったが、平成 20～22 年度に比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 0.9～1.2%と比して平成 23 年度は 2.1%と高かった。また、平成 24 年度は 1.2%と平成 23 年度と比して低く、平成 20～22 年度と同等であった。

日本糖尿病学会が示す糖尿病治療目標値 HbA1c (JDS 値)6.5%未満を達成していない割合は、男性が平成 20～22 年度の 4.1～4.5%と比して平成 23 年度は 7.0%と高かった。また、平成 24 年度は 5.1%と平成 23 年度と比して低かったが、平成 20～22 年度に比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 2.7～2.9%と比して平成 23 年度は 3.4%とやや高かった。また、平成 24 年度は 2.7%と平成 23 年度と比して低く、平成 20～22 年度と同等であった。

また、糖尿病の血糖管理不良とされる HbA1c (JDS 値)8.0%以上は、男性の割合が平成 20～22 年度の 0.8～1.1%と比して平成 23 年度は 1.9%と高かった。また、平成 24 年度は 1.3%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 0.6～0.7%と比して平成 23 年度は 1.0%とやや高かった。また、平成 24 年度は 0.6%と平成 23 年度と比して低く、平成 20～22 年度と同等であった。

尿糖の陽性は、男性において、1+以上の割合は平成 20～22 年度の 3.2～3.7%と比して平成 23 年度は 4.3%と高かった。また、平成 24 年度は 3.8%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度と同等であった。女性においても、1+以上の割合は平成 20～22 年度の 0.9～1.2%と比して平成 23 年度は 1.6%と高かった。また、平成 24 年度は 0.9%と平成 23 年度と比して低かったが、平成 20～22 年度に比して同等であった。

5) 脂質代謝

●LDL-C

LDL-C (mg/dL) (男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
H20	12,217	66.4	116.4	45.5%	22.3%
H21	12,290	66.7	116.2	45.3%	21.5%
H22	12,031	67.0	115.0	43.2%	20.7%
H23	3,268	65.6	120.8	50.5%	26.6%
H24	9,325	66.7	116.7	45.4%	21.7%

LDL-C (mg/dL) (女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
H20	14,994	65.9	126.4	59.0%	33.4%
H21	14,705	66.1	125.4	58.1%	31.4%
H22	14,272	66.2	124.2	56.4%	30.2%
H23	4,554	63.4	128.0	58.7%	33.8%
H24	12,645	64.8	124.4	54.2%	29.0%

●中性脂肪

中性脂肪 (mg/dL) (男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
H20	12,217	66.4	118.1	21.1%	3.0%
H21	12,290	66.7	116.2	21.4%	2.9%
H22	12,031	67.0	116.1	20.6%	2.9%
H23	3,268	65.6	134.0	29.0%	4.5%
H24	9,325	66.7	122.3	24.1%	3.5%

中性脂肪 (mg/dL) (女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
H20	14,994	65.9	105.1	15.8%	1.2%
H21	14,705	66.1	103.4	14.7%	1.2%
H22	14,272	66.2	103.2	14.5%	1.1%
H23	4,554	63.4	109.0	17.1%	1.7%
H24	12,645	64.8	105.4	15.5%	1.3%

●HDL-C

HDL-C (mg/dL) (男性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
H20	12,217	66.4	56.2	9.6%
H21	12,290	66.7	57.0	9.1%
H22	12,031	67.0	55.7	10.4%
H23	3,268	65.6	54.3	13.3%
H24	9,325	66.7	53.9	13.3%

HDL-C (mg/dL) (女性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
H20	14,994	65.9	61.8	3.1%
H21	14,705	66.1	63.0	3.0%
H22	14,272	66.2	61.6	3.4%
H23	4,554	63.4	61.7	4.2%
H24	12,645	64.8	60.2	4.6%

男性において、境界域高 LDL コレステロール血症(120mg/dl 以上)の割合は、平成 20～22 年度の 43.2～45.5%と比して平成 23 年度は 50.5%と若干高かった。また、平成 24 年度は 45.4%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と同等であった。女性は平成 20～22 年度の 56.4～59.0%と比して平成 23 年度は 58.7%と同等であった。また、平成 24 年度は 54.2%と平成 20～22 年度や平成 23 年度と比してやや低かった。

男性における高 LDL コレステロール血症(140mg/dl 以上)の割合も、平成 20～22 年度の 20.7～22.3%と比して平成 23 年度は 26.6%と若干高い傾向にある。また、平成 24 年度は 21.7%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と同等であった。女性は平成 20～22 年度の 30.2%～33.4%と比して平成 23 年度は 33.8%と同程度であった。また、平成 24 年度は 29.0%と平成 20～22 年度や平成 23 年度と比してやや低かった。

高中性脂肪血症の割合(150 mg/dl 以上)は、男性において、平成 20～22 年度は 20.6～21.4%であったが、平成 23 年度は 29.0%と高かった。また、平成 24 年度は 24.1%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 14.5～15.8%と比して平成 23 年度は 17.1%とやや高かった。また、平成 24 年度は 15.5%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と同等であった。

高度な中性脂肪血症の割合(300mg/dl 以上)は、男性において、平成 20～22 年度は 2.9～3.0%と比して平成 23 年度は 4.5%と高かった。また、平成 24 年度は 3.5%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度と比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 1.1～1.2%と比して平成 23 年度は 1.7%とやや高かった。また、平成 24 年度は 1.3%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と同等であった。

低 HDL コレステロール血症(40mg/dl 未満)は、男性において、平成 20～22 年度の 9.1～10.4%と比して平成 23 年度は 13.3%と高かった。また、平成 24 年度は 13.3%と平成 23 年度と比して同等であり、平成 20～22 年度と比して高かった。女性は平成 20～22 年度の 3.0～3.4%と比して平成 23 年度は 4.2%と高かった。また、平成 24 年度は 4.6%と平成 20～22 年度や平成 23 年度と比して高かった。

6) 腎機能

●尿蛋白

尿定性 (尿蛋白)(男性)			
	受診者数(人)	平均年齢	(1+) 以上
H20	12,203	66.4	3.7%
H21	12,280	66.7	3.4%
H22	12,024	67.0	3.6%
H23	3,260	65.6	3.7%
H24	9,315	66.7	2.6%

尿定性 (尿蛋白)(女性)			
	受診者数(人)	平均年齢	(1+) 以上
H20	14,984	65.9	1.7%
H21	14,698	66.1	1.5%
H22	14,248	66.2	1.6%
H23	4,531	63.4	1.3%
H24	12,618	64.8	1.0%

糸球体腎炎等のスクリーニング指標として有用な尿蛋白の陽性の割合は、男性において平成 20～22 年度の 3.4～3.7% に比して平成 23 年度は 3.7% と大きな変化は認めなかった。また、平成 24 年度は 2.6% と平成 20～22 年度、平成 23 年度と比してやや低かった。

女性において、平成 20～22 年度の 1.5～1.7% に比して平成 23 年度は 1.3% とほぼ同等で、平成 24 年度は 1.0% と平成 20～22 年度、平成 23 年度と比してやや低かった。

7) 肝機能

●AST

AST (IU/l)(男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/l以上	51 U/l以上
H20	12,217	66.4	27.7	24.5%	3.1%
H21	12,290	66.7	27.0	21.6%	2.8%
H22	12,031	67.0	26.5	20.9%	2.8%
H23	3,268	65.6	28.3	27.2%	5.2%
H24	9,325	66.7	28.2	25.7%	4.3%

AST (IU/l)(女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/l以上	51 U/l以上
H20	14,994	65.9	24.6	13.0%	1.6%
H21	14,705	66.1	23.9	11.1%	1.4%
H22	14,272	66.2	23.7	11.3%	1.3%
H23	4,554	63.4	24.1	14.1%	2.8%
H24	12,645	64.8	24.5	13.8%	2.5%

●ALT

ALT (IU/l)(男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/l以上	51 U/l以上
H20	12,217	66.4	23.8	17.7%	4.3%
H21	12,290	66.7	23.4	17.0%	4.0%
H22	12,031	67.0	22.8	16.3%	3.8%
H23	3,268	65.6	29.0	30.6%	11.0%
H24	9,325	66.7	26.9	25.0%	7.7%

ALT (IU/l)(女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/l以上	51 U/l以上
H20	14,994	65.9	19.4	8.8%	1.8%
H21	14,705	66.1	19.0	8.2%	1.8%
H22	14,272	66.2	18.6	8.1%	1.7%
H23	4,554	63.4	21.2	14.4%	4.4%
H24	12,645	64.8	20.7	12.1%	3.9%

● γ -GT

γ -GT (IU/l)(男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/l以上	101 U/l以上
H20	12,217	66.4	46.8	23.7%	7.9%
H21	12,290	66.7	46.5	23.4%	7.5%
H22	12,031	67.0	46.2	23.1%	7.5%
H23	3,268	65.6	53.6	31.3%	10.7%
H24	9,325	66.7	51.5	28.9%	9.4%

γ -GT (IU/l)(女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/l以上	101 U/l以上
H20	14,993	65.9	23.9	5.9%	1.1%
H21	14,705	66.1	23.6	5.5%	1.1%
H22	14,272	66.2	23.7	5.4%	1.1%
H23	4,554	63.4	27.3	9.6%	2.1%
H24	12,645	64.8	26.1	8.3%	2.0%

ASTは、男性において、31U/l以上の割合は平成20～22年度の20.9～24.5%と比して平成23年度は27.2%と若干高かった。また、平成24年度は25.7%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比してやや高かった。51U/l以上の割合も2.8～3.1%と比して5.2%と高かった。また、平成24年度は4.3%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比してやや高かった。女性においても、31U/l以上の割合は、平成20～22年度の11.1～13.0%と比して平成23年度は14.1%と若干高かった。また、平成24年度は13.8%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。51U/l以上の割合も平成20～22年度の1.3～1.6%と比して平成23年度は2.8%と高かった。また、平成24年度は2.5%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。

ALTは、男性において、31U/l以上の割合は平成20～22年度の16.3～17.7%と比して平成23年度は30.6%と高かった。また、平成24年度は25.0%と平成23年度と比して低かったが、平成20～22年度に比して高かった。51U/l以上の割合も3.8～4.3%と比して11.0%と高かった。また、平成24年度は7.7%と平成23年度と比して低かったが、平成20～22年度に比して高かった。女性においても、31U/l以上の割合は平成20～22年度の8.1～8.8%と比して平成23年度は14.4%と高かった。また、平成24年度は12.1%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。51U/l以上の割合も平成20～22年度の1.7～1.8%と比して平成23年度は4.4%と高かった。また、平成24年度は3.9%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。

γ-GTは、男性において、51U/l以上の割合は平成20～22年度の23.1～23.7%と比して平成23年度は31.3%と高かった。また、平成24年度は28.9%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。101U/l以上の割合も平成20～22年度の7.5～7.9%と比して平成23年度は10.7%と高かった。また、平成24年度は9.4%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。女性においても、51U/l以上の割合は平成20～22年度の5.4～5.9%と比して平成23年度は9.6%と高かった。また、平成24年度は8.3%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。101U/l以上の割合も平成20～22年度の1.1%と比して平成23年度は2.1%と高かった。また、平成24年度は2.0%と平成23年度と比して同等であったが、平成20～22年度に比して高かった。

【まとめ】

肥満の割合（腹囲、BMI）は、女性の腹囲を除き、平成 23 年度に比較して平成 24 年度は低下したが、平成 20～22 年度に比較すると、依然高かった。

糖代謝異常の割合（空腹時血糖、HbA1c、尿糖）は、平成 23 年度に比較して平成 24 年度は全般的に低下したが、平成 20～22 年度に比較して男性空腹時血糖、HbA1c 高値の割合が依然やや高かった。

脂質代謝異常（LDL-C、中性脂肪）は、平成 23 年度に比較して平成 24 年度は全般的に低下したが、平成 20～22 年度に比較すると男性の中性脂肪高値の割合が依然やや高かった。

肝機能異常（AST、ALT、 γ -GT）は、平成 23 年度に比較して平成 24 年度は全般的に低下したが、平成 20～22 年度に比較すると依然高かった。

このような変化の要因を考察すると、平成 23 年度は余儀なくされた避難生活による運動量の減少やアルコール多飲などを含む食習慣の変化、精神的ストレスや睡眠障害に伴う生活環境全般の変化などの可能性が推測されたが、平成 24 年度は生活環境全般がやや改善された可能性がある。

しかし、今回比較した平成 20～22 年度と平成 23・24 年度の受診者では、対象地域や受診者年齢層が異なっていることから、元々の母集団の相違の問題が存在するなど、多くの修飾要因が存在するため、このような解析では平成 20～22 年度と平成 23・24 年度との厳密な意味での比較はできない。

県民健康管理調査としては、「健康診査」は、避難区域等の住民の全年齢層を対象として実施しており、平成 23・24 年度に実施した「健康診査」の結果を基本として、今後、経年的な調査結果を蓄積することにより、生活習慣病を含めた様々な疾病についてのよりよい予防をするための体制整備に活用していきたい。